令和6年第2回（10月）

広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録

広島県後期高齢者医療広域連合議会

令和6年第2回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録目次

第1日(10月28日)

出席議員	1
欠席議員	1
説明員	1
議事補助員	2
議事日程	2
会議に付した事件	3
開会・開議宣告(午後1時48分)	3
広域連合長の議会招集挨拶	3
日程第1 仮議席の指定について	4
諸般の報告	4
日程第2 議長の選挙について	5
追加議事日程	6
日程第1 議席の指定について	6
会議録署名者の指名	6
日程第2 会期の決定について	6
日程第3 副議長の選挙について	7
日程第4 報告第5号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	8
日程第5 議案第7号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について	9
日程第6 議案第8号 専決処分の承認について(令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))	11
日程第7 議案第9号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定	12
日程第8 議案第10号 広島県後期高齢者医療広域連合長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について	21
日程第9 議案第11号 広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	22
日程第10 議案第12号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)	24
日程第11 議案第13号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	26
議了宣告	28
広域連合長の閉会挨拶	28
閉会宣告(午後3時0分)	28
会議録署名	29

広島県後期高齢者医療広域連合議会会議録 第39号
令和6年10月28日（月曜日）国保会館6階大会議室

出席議員

1番	西田	浩
2番	幸城	麗子
3番	椋木	太一
4番	水野	考
5番	田中	みわ子
6番	中田	光政
7番	大川	弘雄
8番	陶	範昭
9番	吉和	宏
11番	岡崎	正淳
12番	真田	光夫
13番	新田	真一
14番	林	高正
15番	細川	雅子
16番	奥谷	求
17番	井上	佐智子
18番	山根	温子
19番	長坂	実子
20番	宮本	彰
21番	下岡	憲国
22番	大瀬戸	宏樹
24番	中本	正廣
25番	伊藤	淳
26番	信谷	俊樹
27番	藤井	照憲
28番	久保田	龍泉

欠席議員

10番	奥	陽治
23番	安竹	正

説明員

広域連合長	平谷	祐宏
代表監査委員	寶来	伸夫
広域連合事務局長	二井	秀樹

広域連合事務局次長兼総務課長	金 谷 淳 子
業務課長	山 下 尚 彦
総務課課長補佐兼企画財政係長	黒 川 輝 久
業務課課長補佐兼資格保険料係長	北 修 治

議事補助員

議会事務局長	笠 原 美恵子
議会事務局次長	楠 木 加 予
書記	大 賀 遥

議事日程（第1号）

（令和6年10月28日 午後1時48分開議）

- 日程第1 仮議席の指定について
日程第2 議長の選挙について
追加議事日程
日程第1 議席の指定について
日程第2 会期の決定について
日程第3 副議長の選挙について
日程第4 報告第5号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
日程第5 議案第7号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について
日程第6 議案第8号 専決処分の承認について（令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号））
日程第7 議案第9号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定
日程第8 議案第10号 広島県後期高齢者医療広域連合長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について
日程第9 議案第11号 広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
日程第10 議案第12号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）
日程第11 議案第13号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

会議に付した事件
議事日程のとおり

午後 1 時48分 開 会

○広域連合議会事務局長（笠原 美恵子）

申し上げます。

本日の定例会は、議長及び副議長が空席となっておりますので、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第107条の規定によりまして、年長の議員が臨時の議長の職務を行うこととなっております。

出席議員中、呉市の田中議員が年長でございますので、田中議員に臨時の議長として議事の進行を行っていただきます。よろしくお願いいたします。

○臨時議長（田中 みわ子）

ただいま紹介いただきました呉市の田中です。

地方自治法第107条の規定によりまして、臨時の議長の職務を行います。

どうぞよろしくお願いいたします。着席させていただきます。

ただいまの出席議員26名であります。地方自治法第113条の規定により定足数に達しておりますので、ただいまから、令和6年第2回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

会議の開会に際しまして、広域連合長の挨拶があります。

広域連合長。

◎広域連合長（平谷 祐宏）

皆さん、こんにちは。

令和6年第2回広域連合議会定例会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日、本定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変御多用のところ御出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、後期高齢者医療制度につきましては、団塊世代が 75 歳を迎え、被保険者数、医療費ともに膨らみ続ける中で、健康寿命の延伸に向けた取組と併せて、医療費の適正化が大きな課題となっております。

こうした中、先般、新たな「高齢社会対策大綱」が閣議決定され、年齢に関わらず能力に応じて制度を支え合う観点から、窓口負担が 3 割となる後期高齢者の対象範囲の拡大について、今後、検討されることとなりました。

また、来る 12 月 2 日の現行の健康保険証の廃止に向けては、国から強く求められているマイナ保険証の利用促進とともに、マイナ保険証を利用しない人への対応も必要となってまいります。

本広域連合といたしましては、こうした国の動向を注視しつつ、引き続き各市町、県と連携を密にして、適切な制度の運営に努めてまいります。

本定例会では、令和 5 年度歳入歳出決算認定をはじめ、補正予算等の重要案件を提出しております。

どうぞ、慎重に御審議いただいた上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○臨時議長（田中 みわ子）

本日の議事日程は、お手元に配付しております議事日程（第 1 号）のとおりでございます。この日程によって議事を進めてまいりたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○臨時議長（田中 みわ子）

御異議ないものと認めて、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第 1 「仮議席の指定について」

○臨時議長（田中 みわ子）

日程第 1 「仮議席の指定について」を議題といたします。「仮議席」は、現在着席されている席とします。

この際、御報告いたします。一身上の都合により、6 名の方から辞職願が提出され、閉会中につき、それぞれ府中市の広瀬和彦議員については令和 6 年 5 月 16 日付け、広島市の八條範彦議員、岡村和明議員、平岡優一議員、川本和弘

議員については令和6年6月11日付けで、呉市の井手畑隆政議員については令和6年8月27日付けで許可されておりますことを御報告いたします。

△ 日程第2 「議長の選挙について」

○臨時議長（田中 みわ子）

次に、日程第2「議長の選挙について」を議題といたします。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○臨時議長（田中 みわ子）

御異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定いたしました。

お諮りいたします。指名は、臨時議長において行いたいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○臨時議長（田中 みわ子）

御異議なしと認めます。臨時議長が指名することに決定いたしました。それでは、議長に1番西田議員を指名いたします。

お諮りいたします。1番西田議員を議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○臨時議長（田中 みわ子）

御異議なしと認めます。よって、1番西田議員が議長に当選されました。ただいま議長に当選されました西田議員が議場におられますので、当選の告知をいたします。以上で私の議事進行の職務を終わり、議長に交代させていただきます。御協力ありがとうございました。

○議長（西田 浩）

ただいま議長に選出いただきました西田でございます。一言御挨拶させていただきます。

この度は、広域連合議会の議長に御推挙いただき、誠に身に余る光栄でありますとともに、身の引き締まる思いでございます。

今後とも議員各位の御支援と御協力を賜りながら、広島県後期高齢者医療広域連合の円滑な議会運営を心がけたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○議長（西田 浩）

本日の議事日程は、お手元に配布しております追加議事日程（第1号の追加1）でございます。この追加議事日程により議事を進めてまいりたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

御異議ないものと認めて、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第1 「議席の指定について」

○議長（西田 浩）

それでは、日程第1「議席の指定について」ですが、議席は、会議規則第4条第1項により議長が指定いたします。

議席は、現在着席されている席といたします。

なお、本日の会議録署名議員として、13番新田議員、20番宮本議員を指名いたします。

△ 日程第2 「会期の決定について」

○議長（西田 浩）

それでは、日程第2「会期の決定について」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期を本日1日間としたいと思います。御異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

御異議なしと認めます。よって、会期を本日1日間と決定いたします。

△ 日程第3 「副議長の選挙について」

○議長（西田 浩）

次に、日程第3「副議長の選挙について」を議題とします。

お諮りします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

御異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名は、議長において行いたいと思いますが、これに御異議はありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

御異議なしと認めます。議長が指名することに決定しました。

それでは、副議長に11番岡崎議員を指名いたします。

お諮りします。11番岡崎議員を副議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

御異議なしと認めます。よって、11番岡崎議員が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました岡崎議員が議場におられますので、当選の告知をします。それでは、岡崎議員を紹介いたします。

○副議長（岡崎 正淳）

失礼をいたします。ただいま副議長に選出をいただきました岡崎でございます。一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

この度、皆様に副議長に御推挙いただきまして、誠にありがとうございます。微力ではございますが、皆様の御指導、御協力をいただきながら、議長の補佐役として、広島県後期高齢者医療広域連合議会の円滑な運営に寄与できますよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（西田 浩）

この際、御報告いたします。理事者側の説明員として、平谷広域連合長、寶来代表監査委員、二井広域連合事務局長、金谷事務局次長兼総務課長、山下業務課長、総務課黒川課長補佐兼企画財政係長、業務課北課長補佐兼資格保険料係長を呼んでおりますことを御報告申し上げます。

また、議場配付いたしました「例月出納検査」結果について、監査委員から議長宛ての報告書の提出がありましたので御報告いたします。

△ 日程第4 「報告第5号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について」

○議長（西田 浩）

次に日程第4「報告第5号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について」を議題とします。本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

それでは、左上に「報告第5号」と記載のある2枚物の資料を御覧ください。
令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書について、御報告をいたします。

2ページ、3ページの繰越計算書を御覧ください。

今回の繰越は、「1款 総務費」「1項 総務管理費」の「電算処理システム運用管理事業」において、509万3,220円を地方自治法の規定により、翌年度に繰り越したものです。

具体的には、当初、令和5年度に実施を予定していた広域連合システム機器更改の延期に伴う「機器更改実施準備支援委託業務」の契約期間の延長により、年度内にその支出が終わらなかったことによるものです。

なお、この繰越につきましては、令和6年2月定例会で提案し、可決をいただいておりますが、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、次の会議である、この議会で報告するものでございます。御報告は、以上です。

○議長（西田 浩）

本件については発言の通告がありませんので、質疑を終結したいと思います。
御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）

ないものと認め、本件の質疑を終結します。これをもちまして、この件を終わります。

△ 日程第5 「議案第7号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」

○議長（西田 浩）

次に日程第5「議案第7号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」を議題といたします。

地方自治法第117条の規定により、5番田中みわ子議員の退席を求めます。

○議長（西田 浩）
本件の説明を求めます。

◎広域連合長（平谷 祐宏）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
広域連合長。

◎広域連合長（平谷 祐宏）

ただいま上程されました議案第7号について、御説明を申し上げます。

広域連合の監査委員につきましては、広域連合規約第16条第1項におきまして二人と定められており、同条第2項におきまして、いわゆる識見を有する者及び広域連合議員のうちからそれぞれ一人を選任することとされております。

本案は、広域連合議員から選任されておりました井手畑隆政氏の監査委員の辞職に伴いまして、現在欠員となっております広域連合議員選出の監査委員として田中みわ子氏を選任することについて、御同意をお願いするものでございます。議案書の人事案件の履歴書にございますように、田中みわ子氏は、現在、呉市議会副議長の職を務められており、知識、経験ともに豊かな方であることから、広域連合監査委員として適任と存じます。

何とぞ御同意を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（西田 浩）
本件は、事後の議事手続を省略して直ちに採決したいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）
御異議なしと認めます。
本件を採決いたします。本件に同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（西田 浩）
御異議なしと認めます。よって、本件は同意されました。退席中の田中議員の入場を許可いたします。

○議長（西田 浩）

田中みわ子議員の選任については、同意されました。

△ 日程第6 「議案第8号 専決処分の承認について（令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」

○議長（西田 浩）

次に日程第6「議案第8号 専決処分の承認について（令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

ただいま上程されました議案につきまして、御説明をいたします。

「議案第8号 専決処分の承認について」でございます。座って説明させていただきます。

議案書の1ページをお開きください。下ほどの提案理由に記載しておりますとおり、令和6年度実施の標準システム機器更改に関し、システムを円滑に移行するためのソフトウェアを購入する必要が生じたことから、令和6年8月20日付けで補正をしたものです。

なお、この補正予算につきましては、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第292条において準用する同法第179条第1項の規定により専決処分を行ったものです。

4ページ及び5ページをお開きください。「第1表 歳入歳出予算補正」です。まず5ページの歳出を御覧ください。「1款 総務費」「1項 総務管理費」に753万5千円を追加するとともに、この費用の財源といたしまして、同額を4ページの歳入の表、「2款 国庫支出金」「2項 国庫補助金」へ追加しております。御説明は以上です。

御審議の上、御承認を賜りますよう、よろしく願いたします。

○議長（西田 浩）

本件の質疑については発言の通告がありませんので、本件質疑を終結します。

次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。

本件を採決いたします。本件を原案のとおり承認することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）

起立総員。よって、本件は承認されました。

△ 日程第 7 「議案第 9 号 令和 5 年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」

○議長（西田 浩）

次に日程第 7 「議案第 9 号 令和 5 年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」を議題とします。

本件の説明を求めます。

なお、本件の説明につきましては、長くなりますので、座って説明していただいで結構です。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

ただいま上程された議案につきまして、御説明いたします。「議案第 9 号 令和 5 年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」です。

私から「議案書」について説明を行いまして、別冊 3 の「歳入歳出決算書附属書類」、及び別冊 4 の「主要な施策の成果説明書」につきましては、事務局次長及び業務課長から説明をいたします。

それでは、議案書の8ページ、9ページをお開きください。まず、一般会計の歳入です。一番下の合計欄ですが、「予算現額」が16億2,584万8千円、「調定額」、「収入済額」がともに16億872万7,509円です。

10ページ、11ページをお開きください。続きまして、歳出です。同じく一番下の合計欄ですが、「予算現額」が16億2,584万8千円、「支出済額」が14億6,727万9,070円、「不用額」が1億5,856万8,930円です。先ほどの歳入の「収入済額」からこの「支出済額」を差し引いた、「歳入歳出差引残額」は、表の下、欄外に記載のとおり、1億4,144万8,439円となり、令和6年度に繰り越します。議案書の御説明は、以上です。

次に、附属書類につきまして、事務局次長から説明をいたします。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

それでは、お手元の別冊3「歳入歳出決算書附属書類」により、一般会計について、御説明いたします。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

2ページ、3ページをお開きください。まず、歳入です。「1款 分担金及び負担金」の「収入済額」、右のページになりますけれども、これは13億6,761万7,482円で、全額が23市町からの事務費分賦金です。続きまして、「2款 国庫支出金」の「収入済額」は362万4,942円で、これは、保健事業推進のための人件費等について交付された調整交付金です。次に「3款 財産収入」、これは、財政調整基金の運用による利子収入で、「収入済額」は1万6,152円です。続きまして、「5款 繰越金」、これは、令和4年度の歳計剰余金で、「収入済額」は2億3,741万5,011円です。

続きまして、歳出について御説明いたします。6ページ、7ページをお開きください。「1款 議会費」、右のページ「支出済額」は76万5,856円で、その右、「不用額」は195万8,144円です。続きまして、「2款 総務費」、これは、事務費や給料等負担金、事務所借上経費等を含む総務管理費並びに選挙費及び監査委員費で、「支出済額」は、7ページの中ほどになりますけれども、5億7,413万635円、「不用額」は2,361万8,365円です。

続きまして、10ページ、11ページをお開きください。「3款 民生費」、これは、特別会計への事務費繰出金で、「支出済額」は8億9,238万2,579円、「不用額」は1億2,782万9,421円です。不用額が生じた要因といたしましては、特別会計事務費に関し、当初予算計上時の見込みと比較いたしまして、委託料

の減額などによる歳出の減額が歳入の減額よりも多かったため、必要となる金額が減額となったことによるものです。

続きまして、12ページをお開きください。一般会計の「令和5年度 実質収支に関する調書」です。令和5年度は、「翌年度に繰り越すべき財源」がありませんでしたので、「3 歳入歳出差引額」、「5 実質収支額」とともに1億4,144万8千円となっております。

一般会計の御説明は、以上です。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

次に、特別会計の決算について御説明をいたします。座って御説明させていただきます。

恐れ入りますが、再び議案書の12ページ、13ページをお開きください。まず、歳入でございます。表の一番下の欄ですが「予算現額」が4,570億8,729万7千円、「調定額」が4,570億562万778円、「収入済額」が4,569億1,744万5,398円、「不納欠損額」が25万5,213円、「収入未済額」が8,792万167円です。

続きまして、14ページ、15ページをお開きください。歳出です。表の一番下の欄ですが、「予算現額」が4,570億8,729万7千円、「支出済額」が4,561億1,811万1,354円、「翌年度繰越額」が509万3,220円、「不用額」が9億6,409万2,426円です。先ほどの歳入の「収入済額」からこの「支出済額」を差し引いた、「歳入歳出差引残額」は、表の下、欄外に記載のとおり7億9,933万4,044円となり、令和6年度に繰り越します。

議案書の御説明は、以上です。次に、附属書類につきまして、業務課長から説明をいたします。

◎業務課長（山下 尚彦）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
業務課長。

◎業務課長（山下 尚彦）

それでは、再び別冊3と書かれております「歳入歳出決算書附属書類」の後期高齢者医療特別会計について、御説明させていただきます。

恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

14ページ、15ページをお開きください。「1款 市町支出金」は、市町が被保険者から徴収した保険料と、医療給付費の12分の1相当分の市町負担金で、「収入済額」は790億3,138万2,374円でございます。なお、令和5年度の現年度分の保険料収納率は、99.62%で、前年度と比べまして0.04ポイント増加しております。「2款 国庫支出金」は、医療給付費の12分の3相当分の国庫負担金や、広域連合間の財政調整を目的として交付される調整交付金などの国庫補助金で、「収入済額」は1,512億5,774万4,028円でございます。

続きまして、16ページ、17ページをお開きください。「3款 県支出金」は、医療給付費の12分の1相当分及び高額医療給付費に対する県負担金で、「収入済額」は381億4,400万2,094円でございます。「4款 支払基金交付金」は、医療給付費の10分の4に相当する、現役世代の後期高齢者医療制度への負担金で、「収入済額」は1,843億2,348万8,028円でございます。

続きまして、18ページ、19ページをお開きください。「5款 特別高額医療費共同事業交付金」は、著しく高額な医療給付費が発生した場合に、国保中央会から交付される交付金で、「収入済額」は2億785万1,808円でございます。

「7款 繰入金」は全額が一般会計から特別会計事務費への繰入金で、「収入済額」は8億9,238万2,579円でございます。

続きまして、20ページ、21ページをお開きください。「10款 諸収入」は、延滞金、第三者納付金、返納金等を収入したもので、「収入済額」は、5億7,303万198円、「不納欠損額」は25万5,213円、「収入未済額」は8,792万167円となっております。このページの中央やや下の第三者納付金、返納金の収入未済分につきましては、今後も適切な事務処理によって、回収に努めてまいります。また、返納金における不納欠損額25万5,213円につきましては、過去に発生した収入未済であり、督促等の徴収事務を行ったものの収入されなかったため、地方自治法の規定、第236条第1項の規定に基づきまして、5年が経過したことにより、消滅時効となったものでございます。

続きまして、歳出について御説明いたします。1枚めくっていただきまして、22ページ、23ページをお開きください。「1款 総務費」は、給付事業等の運営のための事務経費で、「支出済額」は8億9,613万7,447円、「繰越明許費」が509万3,220円、「不用額」は9,697万3,333円となっております。不用額が生じた主な要因でございますが、「需用費」におきまして、トナーやドラムユニット購入などの消耗品費に関し、見積合わせの結果、購入単価が当初の見込額を下回ったことや、「役務費」において、被保険者証の郵送業務に関し、予算計上時には確定していなかった同封物の確定に伴い、重量に基づく郵送料、その単価が見込み金額を下回ったことにより通信運搬費の支出額が減額となったことなどによるものでございます。「2款 保険給付費」は、療養給付費などの保険給付に係る経費で、「支出済額」は4,537億5,546万940円でございます。なお、「不用額」は7億2,373万2,060円でございます。不用額が生じた主な理

由ですが、「高額療養諸費」において、高額介護合算療養費負担金に関し、新型コロナウイルス感染症による受診控えの解消による給付額の増加を見込んだものの、依然として続く影響により、給付額が見込みを下回ったことによるものでございます。

続きまして、24ページ、25ページをお開きください。下の方になりますけれども、「3款 特別高額医療費共同事業拠出金」は、国保中央会が実施しております当該共同事業に対する拠出金で、「支出済額」は1億6,712万7,460円、「不用額」は2,368万5,540円でございます。

続きまして、26ページ、27ページをお開きください。「4款 保健事業費」は、市町が実施した健康診査事業、健康増進事業等に対する補助金の交付や、市町への委託により保健事業と介護予防の一体的実施事業などが行われたもので、「支出済額」は6億2,141万6,776円、「不用額」は8,616万9,224円でございます。「6款 公債費」は、執行の実績はございません。

続いて、ひとつ飛ばしまして、30ページをお開きください。特別会計の「令和5年度 実質収支に関する調書」でございます。「1 歳入総額」が4,569億1,744万5千円、「2 歳出総額」が4,561億1,811万1千円、「3 歳入歳出差引額」が7億9,933万4千円でございます。この額から、「4 翌年度へ繰越すべき財源」の「(2) 繰越明許費繰越額」509万3千円を差し引きますと、「5 実質収支額」は7億9,424万円となります。

続きまして、32ページをお開きください。「財産に関する調書」でございますが、「4 基金」につきましては、令和5年度末の時点での基金残高は、「財政調整基金」が9億4,851万3千円、「後期高齢者医療給付準備基金」が114億5,331万1千円となっております。

「歳入歳出決算書附属書類」の御説明につきましては、以上でございます。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

最後に、別冊4「主要な施策の成果説明書」について、主なものを御説明いたします。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

16ページをお開きください。横向きになりますけれども、「(3) 医療費適正化対策事業」です。事業の内容といたしましては、表の上段、「レセプト点検」は、全てのレセプト内容のチェックを行い、返戻や再審査、交通事故など第三者への求償が必要と思われるレセプトの抽出を行ったものです。事業費は9,777万7,776円となっております。

続いて表の2段目の「医療費通知」は、不正請求の防止やコスト意識の高揚を図るため、受診年月、医療機関名、日数、医療費の総額等を掲載した明細書を、被保険者に年2回、延べ約87万4千件通知したものです。事業費は、6,706万2,300円となっています。

続きまして、17ページを御覧ください。「療養費支給申請書内容点検」、こちらは、柔道整復、鍼灸及びあん摩・マッサージに係る療養費支給申請書の内容点検や、被保険者への照会による申請内容の調査を行ったものです。事業費は、740万9,046円となっております。

続きまして、23ページをお開きください。「(8) 後期高齢者健診事業」です。これは、市町が実施した後期高齢者の健康診査事業及び歯科健康診査事業に対する補助金の交付や、広島県歯科医師会への業務委託による歯科健康診査事業により、受診の促進を図ったものです。事業費は、2億5,248万6,638円となっております。まず、1の「健康診査事業」です。これは、市町が実施した健康診査に対しまして、補助金の交付を行ったものです。令和5年度の受診者数は5万9,023人、受診率は13.77%でした。前年度に比べ、受診者が6,200人、受診率は0.96ポイント増加しております。

続きまして、24ページをお開きください。2の「歯科健康診査事業」市町補助分です。これは、市町が行った歯科健康診査に対しまして、補助金の交付を行ったものです。令和5年度の受診者数は653人、受診率は0.14%でした。引き続き、市町の取組に協力し、受診率の向上に努めてまいります。3の「歯科健康診査事業」広域連合実施分です。これは、前年度に年齢到達により新たに後期高齢者医療制度に加入した被保険者を対象として、本広域連合が実施したもので、令和5年度の受診率は14.47%でした。

続きまして、25ページを御覧ください。「(9) 後発医薬品使用促進事業」です。これは、後発医薬品の使用を促進することにより、医療保険財政の改善や、被保険者の自己負担の軽減を図ったものです。表の1番上、「後発医薬品の周知」といたしまして、年齢到達により新たに後期高齢者医療制度に加入した被保険者に対しまして、被保険者証の交付に併せて「ジェネリック医薬品希望カード」を配付し、後発医薬品の周知と使用促進を図りました。事業費は152万254円です。また、その下の「後発医薬品差額通知」といたしまして、後発医薬品を使用した場合の先発医薬品との薬剤料の差額を通知し、後発医薬品の使用の促進を図りました。事業費は568万7千円となっております。

続きまして、26ページをお開きください。「(10) 保健事業・介護予防一体的実施事業」です。これは、市町委託により、後期高齢者に対する個別支援であるハイリスクアプローチと、通いの場等への積極的な関与に係る取組を行うポピュレーションアプローチを、地域の特性に応じて組み合わせ、介護予防事業等と一体的に実施することで、後期高齢者の心身の課題に対応した健康増進を図ったものです。事業費は2億7,187万3,740円となっております。

続きまして、28ページをお開きください。「(12)健康増進費補助事業」です。まず1の長寿・健康増進事業です。これは、後期高齢者の健康づくりや、生活習慣病の重症化予防のための訪問指導等、表にあります3つの項目に該当する事業を行った延べ7市6町に対しまして、7,474万1,048円の補助金を交付したものです。

続きまして、29ページを御覧ください。2の低栄養防止・重症化予防等推進事業です。これは、低栄養・心身機能の低下、生活習慣病等の重症化の予防等を目的として、保健師等による相談・指導等を行った自治体1町に対しまして、14万8,096円の補助金を交付したものです。別冊4の御説明は、以上です。

なお、別冊5で監査委員による決算審査意見書を添付しております。令和5年度の歳入歳出決算書等につきましては、8月27日に監査委員の審査をいただき、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は正確であり、予算の執行は、適正であると認めていただいております。

「議案第9号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」についての御説明は、以上です。御審議の上、認定を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（西田 浩）

これより質疑を行います。

議案第9号につきましては、通告がございましたので、発言を許可します。

○15番（細川雅子議員）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

15番細川雅子議員。

○15番（細川雅子議員）

発言の機会をいただきありがとうございます。

特別会計の決算について、2点ほどお尋ねいたします。

まず歳入の第1款市町支出金についてでございます。歳入歳出決算書の附属書類15ページに掲載がございます。この保険料等負担金の後ろに、現年度分、過年度分、滞納繰越分とあり、この滞納繰越分が約1億円ございます。全体の額に比べたら大きい額ではございませんが、基本的には100%の収納が不公平感なくできていくと思っておりますので、100%を目指していただきたいと思っておりますが、先ほど収納率の御紹介もございましたが、この直近5年間分程度、収納率がどのように推移しているかを教えてください。

2点目は、特別会計決算ですが、歳出の方の第4款保健事業費についてお尋ねいたします。ただいま成果説明書の中で詳しく説明していただきましたが、

こちらの25ページの方に、後発医薬品使用促進事業というのがございました。これはジェネリック医薬品の周知と利用促進が目的で、希望カードや希望シールを被保険者証の送付時に一緒に送付をしているといった御説明でございましたが、令和6年12月より後期高齢者医療においても、紙媒体での保険証発行、送付がなくなると聞いております。先ほどの説明もございました。

今年度以降、今後の周知、利用促進についてのお考えをお聞かせください。また、併せて、マイナ保険証の普及状況、登録率や利用率なども御紹介いただければ幸いです。お願いいたします。

○議長（西田 浩）

当局の答弁を求めます。

◎業務課長（山下 尚彦）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

業務課長。

◎業務課長（山下 尚彦）

ただいまの御質問に対しまして、お答えいたします。

1点目でございますが、広島県後期高齢者医療広域連合における、各年度の収納率につきましては、令和元年度 99.54% 令和2年度 99.63%、令和3年度 99.64%、令和4年度 99.58% 令和5年度は99.62%でございます。このうち、保険料を年金から天引きする特別徴収をのぞいた普通徴収分の収納率につきましては、令和元年度 99.01%、令和2年度 99.20%、令和3年度 99.23%、令和4年度 99.12%、令和5年度は99.22%でございます。

本広域連合におきましては、引き続き、収納対策実施計画に基づきまして、市町と連携し、収納率の向上に努めてまいります。

次に、2点目でございますけれども、後発医薬品に対する周知・利用促進についてでございますが、令和6年12月2日以降、被保険者証の発行業務はなくなりますが、その後の年次更新時には、マイナ保険証を登録されていない方には資格確認書を、マイナ保険証を登録されている方には資格情報のお知らせを毎年送付いたします。この機会を利用して、後発医薬品を希望する意思を医療機関等に伝えるためのシールを送付し、資格確認書又は、お薬手帳に貼り付けて利用していただくこととしております。

また、後発医薬品に切り替えた場合の具体的な自己負担削減可能額を記載した差額通知の事業につきましても、継続して実施することとしております。引き続きこうした取り組みにより、後発医薬品の利用促進を図ってまいります。

次に、本県の後期高齢者医療の被保険者に係るマイナ保険証の普及状況につきましては、令和6年8月末時点で、マイナ保険証登録率は65.17%で全国の後期高齢者広域連合中第5位でございます。また、マイナ保険証利用率につきましては、10.04%で同11位でございます。本広域連合におきましては、引き続き制度の周知に努め、マイナ保険証の利用率の向上を図ってまいりたいと思います。以上でございます。

○15番（細川雅子議員）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
15番細川雅子議員。

○15番（細川雅子議員）

丁寧な御答弁ありがとうございました。

収納率、非常に、国保料に比べて、高いパーセントで推移しているというので、安心いたしました。ただいまの説明の中で、普通徴収の方がどうしても低くなっているようでございます。やはり切替えの時の、何かタイミングで理由があるのかもしれませんが、徴収事務をしている市町と連携を取って収納率を上げるように努力をお願いいたします。

また、ジェネリック医薬品の方の希望シールということで、お薬手帳に今度から貼っていただくように推進していくということで、なかなか良いアイデアだなと思われましたので、しっかり使っていただけるように、今後もよろしくお願いたします。ありがとうございました。

○議長（西田 浩）

本件の質疑については、他に発言の通告がありませんので、本件質疑を終結します。次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。本件を採決いたします。

本件を原案のとおり認定することに賛成の方は、御起立をお願いいたします。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）

起立総員。よって、本件は認定されました。

△ 日程第 8 議案第 10 号「広島県後期高齢者医療広域連合長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について」

○議長（西田 浩）

次に日程第 8 「議案第 10 号 広島県後期高齢者医療広域連合長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について」を議題とします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

ただ今上程されました議案について、御説明をいたします。

議案書の 16 ページ、及び別冊 1 の「令和 6 年第 2 回広域連合議会定例会議案資料」の 1 ページをお開きください。こちら議案資料 1 ページにより、御説明をさせていただきます。

「議案第 10 号 広島県後期高齢者医療広域連合長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について」です。2 の内容にありますとおり、地方自治法及び地方自治法施行令の一部改正に伴い、この条例で引用している条文が条ずれを起こすため、改正をするものです。

3 の施行期日は、公布の日からです。

御説明は以上です。御審議の上、御議決を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○議長（西田 浩）

本件の質疑については発言の通告がありませんので、本件質疑を終結します。次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。

本件を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）

起立総員であります。よって、本件は可決されました。

△ 日程第9 議案第11号「広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について」

○議長（西田 浩）

次に日程第9「議案第11号 広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について」を議題といたします。本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（二井 秀樹）

ただ今上程されました議案について、御説明をいたします。恐れ入りますが、着座にて御説明をさせていただきます。

議案書の17ページ、及び別冊1の「令和6年第2回広域連合議会定例会議案資料」の2ページをお開きください。それでは、議案資料2ページにより御説明をいたします。

「議案第11号 広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について」です。「1趣旨」は、高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正等に伴い、必要な規定の整理を行うものです。

「2内容」「（1）被保険者証の廃止に伴う改正」です。高齢者の医療の確保に関する法律が改正をされ、令和6年12月2日に施行されることに伴い、条例中「被保険者証の返還に応じない者に係る過料」を規定した条を削り、以降の条を繰り上げるものです。

「（2）保険料徴収猶予の取扱いの見直し」です。これは最長六月と規定されている保険料の徴収猶予期間に関しまして、認知症等により判断能力が不十分な状態の方が急患等で医療機関を受診した場合、資力の活用が可能になるまで、徴収猶予期間を最長1年に変更するものです。なお、医療機関を受診した際の自己負担分につきましても、「一部負担金の減免等に関する要綱」を同様の内容で改正をし、令和6年8月1日に施行しております。

「3施行期日」は、高齢者の医療の確保に関する法律の施行日と同じ、令和6年12月2日です。

御説明は以上です。御審議の上、御議決を賜りますよう、よろしく願いたします。

○議長（西田 浩）

これより質疑を行います。

議案第11号につきまして、通告がございましたので、発言を許可します。

○20番（宮本彰議員）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

20番宮本彰議員。

○20番（宮本彰議員）

議案第11号関係で、広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について御質問をいたします。

保険料徴収猶予の見直し、今回の見直しということで、認知症等により判断能力が不十分な被保険者は保険料の徴収を最長半年から1年間、今回猶予されるということに決まっておりますが、1年を超えた場合はどうなるのか、質問をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（西田 浩）

当局の答弁を求めます。

◎業務課長（山下 尚彦）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

業務課長。

◎業務課長（山下 尚彦）

ただいまの御質問に対しまして、お答えいたします。

現行の条例におきましては、保険料の徴収猶予期間として最長六月と規定しておりますが、今回、最長1年間、徴収猶予ができるよう改正しようとするものでございます。これにつきましては、ただいま事務局長が申しましたように、認知症等により判断能力が不十分かつ、身寄りの有無が判明できない方が急患として医療機関を受診され、即時入院が必要となった場合等におきまして、1年以内には成年後見人の選任が見込まれることによるものでございます。徴収猶予期間の1年が経過した場合は、この間の延滞金を免除した上で、滞納となっている保険料を納めていただくこととなります。

本広域連合におきましては、今後も市町と連携しつつ被保険者の実情に考慮しながら、適切に業務を遂行してまいりたいと思っております。以上です。

○20番（宮本彰議員）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）
20番宮本彰議員。

○20番（宮本彰議員）
御説明ありがとうございました。1年を超えた場合にどのようになるのかというのが心配でしたけれども、延滞料を免除した上で、支払い能力に応じた支払金額という風に聞いておりました、手厚い方法で安心をいたしました。ありがとうございました。以上です。

○議長（西田 浩）
本件の質疑については、他に発言の通告がありませんので、本件質疑を終結いたします。次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。
本件を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）
起立総員であります。よって、本件は可決されました。

△ 日程第10 「議案第12号 令和5年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）」

○議長（西田 浩）
次に日程第10「議案第12号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）」を議題とします。本件の説明を求めます。

○広域連合事務局次長（金谷 淳子）
議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

議案第12号「令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）」につきまして、御説明いたします。恐れ入りますが、座って御説明させていただきます。

議案書の19ページをお開きください。一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億6,985万4千円を追加し、予算の総額をそれぞれ19億4,575万5千円とするものです。

20ページをお開きください。この補正の内容につきまして、御説明いたします。まず、歳入です。「3款 財産収入」、「1項 財産運用収入」の114万円の増額は、定期預金で運用している財政調整基金の利子収入が、当初の見込みを上回ることによるものです。「4款 繰入金」、「1項 基金繰入金」の2,726万6千円の増額は、特別会計事務費繰出金の増額に伴い、その財源となる繰入金を増額したものです。続いて「5款 繰越金」、「1項 繰越金」の1億4,144万8千円の増額は、令和5年度の決算剰余金を計上したものです。

続きまして、21ページを御覧ください。歳出になります。「2款 総務費」、「1項 総務管理費」の1億4,258万8千円の増額は、令和5年度の後期高齢者医療財政調整交付金に係る返還金として6万円、令和5年度の決算剰余金の一部の財政調整基金への積立金として1億4,138万8千円、先ほどの財政調整基金の利子収入の増額に伴う、財政調整基金への利子積立金の増額といたしまして114万円をそれぞれ計上したものです。「3款 民生費」、「1項 社会福祉費」の2,726万6千円の増額は、特別会計の事務費の増額に伴い、繰出金の増額を計上したものです。

以上、上程されました議案につきまして、概要を御説明いたしました。御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（西田 浩）

本件の質疑については、発言の通告がありませんので、本件質疑を終結いたします。次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結いたします。

本件を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）

起立総員であります。よって、本件は可決されました。

△ 日程第11 「議案第13号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」

○議長（西田 浩）

次に日程第11「議案第13号 令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

議長。（挙手）

○議長（西田 浩）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（金谷 淳子）

議案第13号「令和6年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」につきまして、御説明いたします。恐れ入りますが、座って御説明いたします。

議案書の22ページをお開きください。特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ9億1,817万8千円を追加し、予算の総額をそれぞれ4,769億225万9千円とするものです。

23ページを御覧ください。この補正の内容につきまして、御説明いたします。まず、歳入です。「1款 市町支出金」、「1項 市町負担金」の8億8,691万1千円の増額は、令和5年度保険料等市町負担金及び療養給付費市町負担金の精算に伴う市町からの追加納付額を計上したものです。「2款 国庫支出金」、「2項 国庫補助金」の170万2千円の増額は、補助対象経費の増額に伴う調整交付金の増額を計上したものです。「3款 県支出金」、「1項 県負担金」の1億3,016万6千円の増額は、令和5年度療養給付費負担金の精算に伴う県からの追加交付分を計上したのになります。「4款 支払基金交付金」、「1項 支払基金交付金」の6億5,020万4千円の減額は、令和5年度後期高齢者交付金の過交付分について、令和6年度の当該交付金からの減額により返還する額を計上したのとなっております。「6款 財産収入」、「1項 財産運用収入」の1,284万1千円の増額は、定期預金で運用している給付準備基金の利子収入が、当初の見込みを上回ることによるものです。「7款 繰入金」、「1項 一般会計繰入金」の2,726万6千円の増額は、充当される事務費の増額に伴う一般会計からの繰入金の増額を、「2項 基金繰入金」の

2億9,467万4千円の減額は、市町負担金の増等に伴う基金からの繰入金の減額を計上したものです。「8款 繰越金」、「1項 繰越金」の7億9,423万9千円の増額は、令和5年度の決算剰余金を計上したものです。「10款 諸収入」、「1項 延滞金、加算金及び過料」の28万8千円の増額、及び「3項 雑入」の964万3千円の増額は、保険料延滞金や、健診事業費補助金等の精算に伴う、市町からの納付額等を計上したものです。

続きまして、24ページをお開きください。歳出です。「1款 総務費」、「1項 総務管理費」の2,896万8千円の増額は、令和6年10月からの郵便料金の増額改定に伴い、医療費通知等の送付に関し、不足が見込まれる郵送代を計上したものです。「5款 基金積立金」、「1項 基金積立金」の1,284万1千円の増額は、先ほどの給付準備基金の利子収入の増額に伴う、給付準備基金への利子積立金の増額分を計上したものです。「7款 諸支出金」、「1項 償還金及び還付加算金」の8億7,636万9千円の増額は、医療給付費の確定等に伴う国や県、市町への返還金を計上したものです。

続きまして、25ページを御覧ください。「第2表 債務負担行為補正」です。まず、「1 追加」は、令和7年度の事業のうち、令和6年度中に委託契約をして準備を進める必要がある「事務代行業務委託料」などの3事業について、債務負担行為を追加するものです。また、「2の変更」につきましては、令和6年2月定例会で議決をいただいた被保険者証等印刷封入業務委託料（令和6年度分）に係る債務負担行為につきまして、今年度締結いたしました契約に基づき、限度額を増額するものです。

以上、上程されました議案につきまして、概要を御説明いたしました。御審議の上、議決を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○議長（西田 浩）

本件の質疑については、発言の通告がありませんので、本件質疑を終結いたします。

次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。

本件を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（西田 浩）

起立総員であります。よって、本件は可決されました。

○議長（西田 浩）

以上をもちまして、本定例会に付議された事件は、全て議了いたしました。
閉会に当たり、広域連合長の挨拶がございます。

◎広域連合長（平谷 祐宏）

令和6年第2回広域連合議会の定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様方におかれましては、提案いたしました各議案につきまして、慎重に御審議の上、議決を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

引き続き、安定した制度の運営に向けまして、今後とも、皆様の格別なる御支援、御協力を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。

本日は本当にありがとうございました。

○議長（西田 浩）

議員各位におかれましては、案件について、熱心に御審議いただきまして、無事閉会の運びとなりました。

皆様の御協力に対し、心からお礼申し上げます次第であります。

これをもちまして、本定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後3時0分

閉 会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

広島県後期高齢者医療広域連合議会議長 西 田 浩

広島県後期高齢者医療広域連合議会臨時議長 田 中 みわ子

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 新 田 真 一

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 宮 本 彰